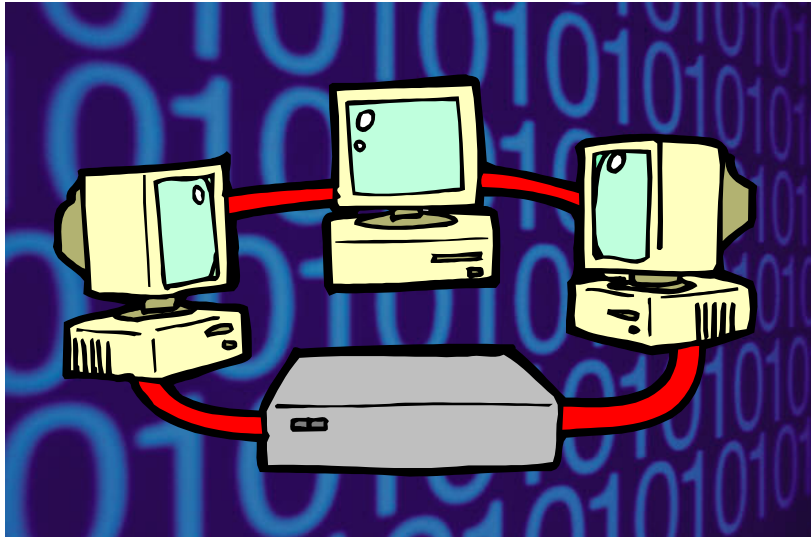


目 次

1 ネットワークの概要	1
◆ ネットワーク.....	1
◆ LAN.....	2
◆ WAN.....	2
◆ ピアツーピア型ネットワーク.....	2
◆ クライアントサーバ型ネットワーク.....	2
2 ドライブやフォルダの共有	3
◆ 共有について	3
◆ 共有ドライブ	3
◆ 共有フォルダ	3
◆ 共有プリンタ.....	3
3 ネットワークドライブの割り当て	4
◆ ネットワークドライブ	4
◆ ネットワークドライブの割り当て操作	4

1 ネットワークの概要

◆ ネットワーク



コンピュータを2台以上接続して使用することを、「コンピュータネットワーク」という。
コンピュータネットワークを利用すると、次のようなメリットがある。

1. データの共有と一元管理

分散しているデータをネットワーク上に集めて一元管理できる。これにより、その部署全体で必要なデータを共有でき、個々が同じようなデータを持って作業をすることがなくなるため、データの重複にまつわるトラブルを回避することができる。

2. 周辺機器などの共同利用

各パソコンに接続されているプリンタ、ハードディスクドライブ、CDドライブ、MOドライブなどの周辺機器を、ネットワーク上のユーザーが共同で利用できる。自分のパソコンには接続されていない機器も利用できるため、パソコンでの作業能力が広がる。

周辺機器を共同で利用することにより、導入する機器の台数が節約できるので、コストの削減につながる。

◆ LAN

LAN (Local Area Network) は、同一の建物や敷地内でコンピュータを接続して使用する形態のこと。主にケーブルを使ってコンピュータ同士を接続する。接続するために必要な機器は、LAN カード (NIC などとも呼ばれ、パソコン本体に設置するもの)、Ethernet ケーブル (LAN 接続用ケーブル)、ハブ (HUB、ケーブルとケーブルを中継する機器) などがある。

ケーブルを使わず、電波による通信を行う「無線 LAN」もある。配線の必要がないので、ノートパソコンを使って、移動しながら作業をする場合などに便利である。

◆ WAN

WAN (Wide Area Network) は、LAN と対比する意味の「広域ネットワーク」のこと。例えば本社と支社間のネットワークのように、LAN と LAN とを接続した形態を指す。

◆ ピアツーピア型ネットワーク

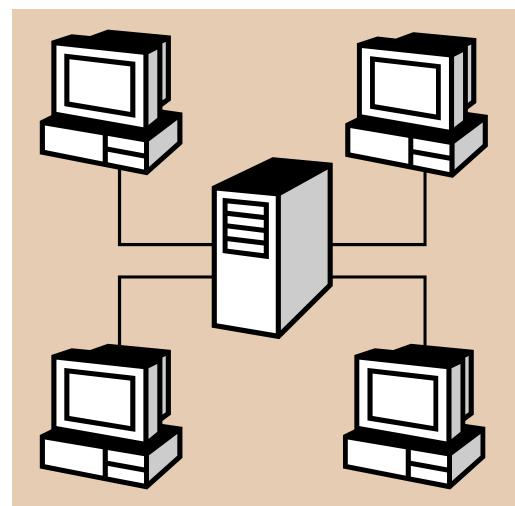
「ピア」とは「地位や能力が同等な人」という意味。専用のサーバを置かない簡易型のパソコン LAN をピアツーピア (Peer to Peer) 型という。

家庭や小さな事務所で、パソコンを数台使用している場合などに便利。プリンタやファイルの共有などを主な用途として使用する。

◆ クライアントサーバ型ネットワーク

ネットワーク上で、「サービスを提供する側のクライアント」と「サービスを利用する側のサーバー」に分かれて、各コンピュータが処理を行なうシステムのことです。大きな会社や研究施設のように、多数のパソコンを利用するときに使います。

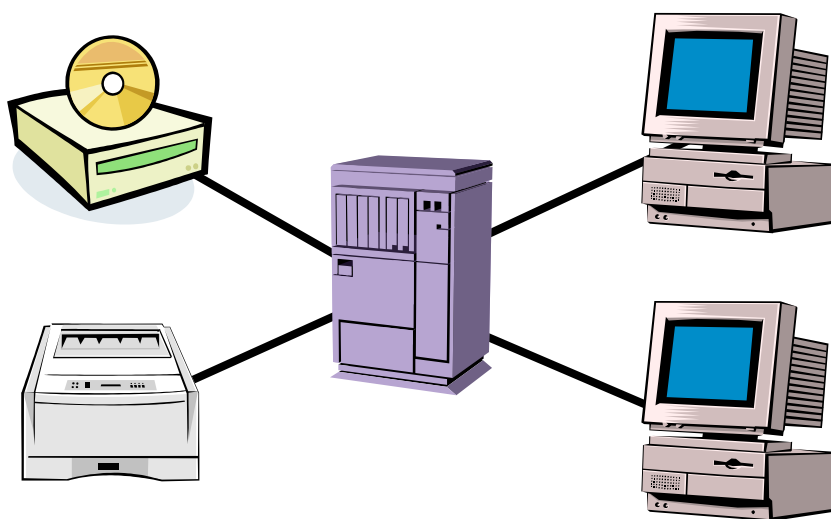
一般的に、サーバはクライアントに比べて高性能のコンピュータを用い、ファイル管理、データベース管理、データの提供および加工、プリンタによる印刷の制御、通信機能などのサービスを、クライアントの要求に応じて行なう。クライアントとサーバそれぞれが処理を分散して行なうことで、各コンピュータの処理の負担を軽減することができる。また、ユーザーの管理も厳密にできるので、ネットワークのセキュリティが保たれる。



2 ドライブやフォルダの共有

◆ 共有について

ネットワーク上では、他のコンピュータのドライブやフォルダ、プリンタを共同で使うことができる。ネットワーク上で使用できるドライブやフォルダ、ファイル、プリンタなどを「資源」と呼ぶ。ネットワーク上にある資源を共同で使用することを、「資源を共有する」という。



◆ 共有ドライブ

ネットワーク上のパソコンのドライブを共有化したものを、共有ドライブという。自分のパソコンに CD ドライブがない場合でも、他のパソコンにある CD ドライブが共有化されていれば、あたかも自分のパソコンの CD ドライブであるかのように、使用することができる。

◆ 共有フォルダ

ネットワーク上のパソコン内のフォルダを共有化したものを、共有フォルダという。たとえば、1 台のパソコンに全員がよく使用するファイル類が格納されているフォルダがある場合は、そのフォルダを共有フォルダにする。こうしておくで、自分のパソコンからネットワークを介して、共有フォルダにアクセスすることができるようになる。

◆ 共有プリンタ

ネットワーク上のパソコンに接続されているプリンタを共有することができる。文書を印刷するときには、プリンタが接続してあるパソコン上で印刷命令を実行する必要があるが、共有プリンタがあれば、プリンタが接続されていないパソコンからでも、印刷命令を出すことができるようになる。

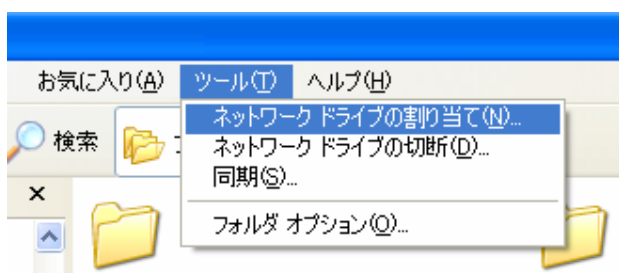
3 ネットワークドライブの割り当て

◆ ネットワークドライブ

ネットワークドライブとは、ネットワーク上の共有フォルダや共有ドライブを、あたかも自分のパソコンのドライブのように扱うことのできる設定である。

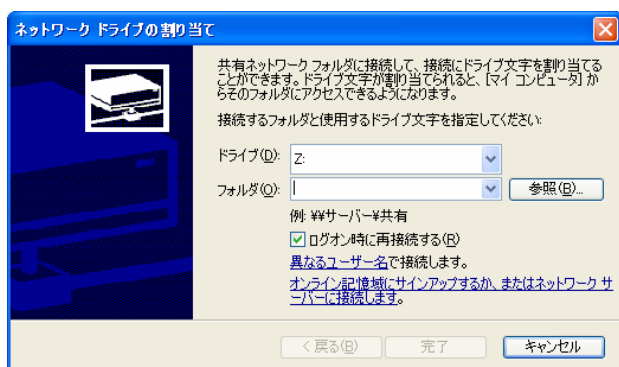
よく使う共有フォルダや共有ドライブは、ネットワークドライブに割り当てると便利だ。

◆ ネットワークドライブの割り当て操作



① [スタート] メニューの [プログラム] をポイントし、[エクスプローラ] をクリックする。

② [エクスプローラ] ウィンドウの [ツール] メニューから [ネットワークドライブの割り当て] をクリックする。



③ [ネットワークドライブの割り当て] ダイアログボックスで、ドライブ、パスなどの設定をして [OK] ボタンをクリックする。

[ドライブ]

使用するドライブ名を指定する。

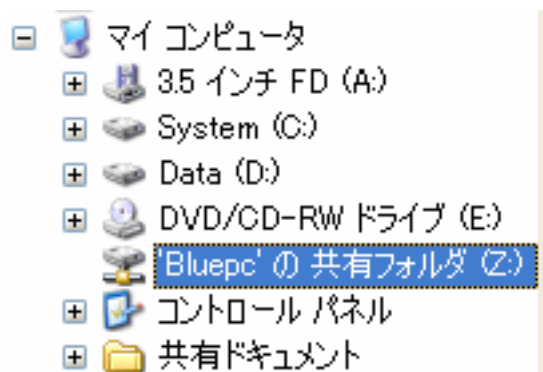
[パス]

接続する共有フォルダの名前と場所を指定する。

[ログオン時に再接続]

オンにすると、Windows を起動するたびに同じドライブに割り当てられる設定になる。

ウィンドウ左側の [すべてのフォルダ] に割り当てられたドライブアイコンが表示される。



④ [閉じる] ボタンをクリックして [エクスプローラ] ウィンドウを閉じる。